

全国土地家屋調査士政治連盟

政連通信

発行所
全国土地家屋調査士政治連盟
〒101-0061
東京都千代田区神田三崎町 1-2-10
電話 03-6273-7507
土地家屋調査士会館
発行人 椎名 勤

Vol.1
2024.6

CONTENTS

- 自由民主党土地家屋調査士制度改革推進議員連盟 令和5年総会が開催されました 1
国会 Report:Vol.1-狭あい道路問題の解消について- 石川博崇参議院議員質疑 2
国会 Report:Vol.2-区分所有法・所有者不明土地について- 豊田俊郎参議院議員質疑 3
全国土地家屋調査士政治連盟第24回定時大会開催・懇親会 3-4
全国土地家屋調査士政治連盟第1回会長会議「狭あい道路シンポ開催」のお知らせ 4

自由民主党制度改革推進議員連盟 令和5年総会が開催されました

日時 令和5年11月9日(木) 11:00~12:00

場所 自由民主党本部会議室にて

出席者:法務省民事局民事第二課 大谷課長、民事局 新居局付、民事2課 楠野地図企画官、
国土交通省住宅局市街地建築課 村上課長、市街地建築課 栗津企画専門官

日調連:岡田会長、佐々木副会長、高倉専務理事、花岡常務理事、内野常任理事

全調政連:椎名会長、加藤副会長、早川副会長、久保田幹事長

全公連:榊原会長

今年も根本匠会長のご挨拶に始まり、柴山昌彦事務局長の司会で進行されました。まず、新規入会者の承認が行われ、衆議院議員から9名、参議院議員から3名の入会が、全会一致で承認されました。新規入会は各都道府県土地家屋調査士政治連盟から推薦を受けた議員を推薦基準としています。単位会からの期待を受けて土地家屋調査士制度の発展にご尽力をいただける自民党的先生方は総勢181名となります。次に、団体を代表する岡田日調連会長から15600名会員が全国の各地域で土地家屋調査士制度を支えていることが報告されました。椎名全調政連会長からは重点要望とする⑧狭あい道路の実情⑨公共嘱託登記土地家屋調査士協会の業務範囲についての補足説明がありました。議事に入り、高倉専務理事が準備された配布資料をもとに議員連盟への予算・政策要望10の事項について簡潔に要約された説明が行われました。

(要望事項)

- 1 登記所備付地図(不動産登記法第14条第1項)作成作業の推進について
- 2 地籍調査事業の推進について
- 3 表題部所有者不明土地の解消に向けた施策の推進について
- 4 筆界特定手続に関する施策の推進について
- 5 法務局に提供する図面について
- 6 所有者不明土地・所有者不明建物の発生を防止するための施策(相続登記等の推進)
- 7-1 所有者探索を円滑に進めるための施策について
(表示に関する登記の手続きにおける固定資産税課税台帳情報の利用について)
- 7-2 所有者探索を円滑に進めるための施策について(指定市町村長に対してする戸籍謄本等の請求について)
- 8 狭あい道路解消に係る予算措置及びガイドラインの周知について
- 9 公共嘱託登記土地家屋調査士協会が「筆界を明らかにする業務」を行うこと及び「筆界特定手続の代理」をすることを可能にする方策について
- 10 土地家屋調査士試験受験会場の増設について



(左から)柴山事務局長、根本会長



椎名会長



岡田連合会長

続いて出席省庁から法務省大谷課長、国交省村上課長が説明に立ち、予算・要望事項についての各省の取組状況が報告されました。次に国会議員の先生方からの質疑応答に移り、全国各地域の視点から、制度に対する活発な意見交換が行われました。

日調連・全調政連、全公連がしっかりと連動した活動を行うために、土地家屋調査士制度の発展に必要とする予算・要望事項が熟考されています。全国の土地家屋調査士会々員が個々に専門性を発揮して、地域に根を張った業務が適正に評価されるために、議員連盟との協力は不可欠であり、土地家屋調査士制度にとって強力な応援団です。

国会 Report Vol.1

— 狭あい道路問題の解消について —

石川博崇 参議院議員 (公明党)

令和6年4月9日 参議院法務委員会

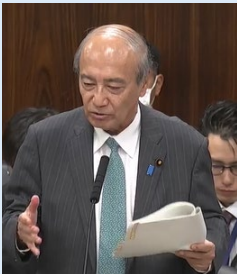


石川博崇参議院議員

石川博崇参議院議員(公明党)より狭あい道路問題の解消について、小泉法務大臣、国土交通省の見解を問う質問がありました。その質疑の中で、昨年、日調連主催の狭あい道路解消シンポジウムにおいて発出しました「狭あい道路解消促進宣言」にも触れていただき、土地家屋調査士制度を管轄する法務大臣の立場から、狭あい道路解消に向けた日調連の取り組みについて考えが示されました。また、国土交通省からは地域の実情に応じて丁寧に進めるため、地方公共団体と連携して狭あい道路の解消に向けた取り組みを推進する旨の答弁がありました。石川議員からは、広島県府中町の事例をもとに、新たな事業としての「狭あい道路情報整備モデル事業創設」について取り上げていただきました。

報告 ~大阪政連の取組み~

参議院法務委員会での石川参議員の「狭あい道路解消について」の質問について



小泉法務大臣

大阪土地家屋調査士政治連盟 会長 加藤 幸男 (全調政連副会長)

大阪調政連は毎年一回ではありますが、各政党の多くの国会議員・地方議員にご出席頂き政策要望懇談会を開催しています。制度上さまざまな問題点がありますが、毎年テーマを絞り要望をしています。要望事項は多数ありますが、日調連、全公連、全調政連が取り組んでいる狭あい道路解消が喫緊のテーマであり、令和5年度の懇談会にてこれに関する資料をお示しして解消に向けての政策要望を致しました。

そして、この度本年4月9日開催の参議院法務委員会において大阪選出の公明党石川博崇参議員が小泉法務大臣ご出席のもと全国で約31%を占める狭あい道路解消についての質問と要望をしてくださいました。我々日調連、全公連、全調政連の3団体で取り組んでいる狭あい道路解消についての活動状況を報告され、所管省である小泉法務大臣の所見を求めて頂きました。同大臣から、調査士が日常業務として表示登記及び筆界の専門家として活躍していることと、現在行なっている狭あい道路解消に向けて、今回のシンポジウム開催が大変意義のある取り組みであると高く評価して頂いたところであります。石川議員から3団体が同シンポ

ジウムで狭あい道路解消促進宣言をし、社会貢献に寄与する取り組みをしていることをとりあげて頂きました。さらに国交省は当事案につき去年ガイドラインを策定されているが、新たな制度と基準など検討していく必要性につき言及され、国交省の取り組みへの意見を求められました。政府参考人の同省佐々木担当官からは、ガイドラインを基に地方自治体と連携して同解消に向け取り組み、社会資本整備総合交付金により、これらに要する費用を支援し、狭あい道路情報モデル事業を創設し、解消に向けての取り組みを支援したいとの答弁があり、これを機に全国的に当事業の促進が行なわれる事と確信致します。



国交省佐々木審議官

Profile 石川博崇(いしかわ ひろたか):参議院議員(公明党)。外務省出身。大阪選挙区(3 期目)。公明党大阪府本部代表。

国会 Report Vol.2 一区分所有法・所有者不明土地について一

豊田俊郎 参議院議員 (自民党) 令和6年4月8日 参議院決算委員会



法務省竹内民事局長

豊田議員から所有者不明や被災した区分所有者などがいる場合、集会の決議を円滑に行うことを可能とする方針についての質疑があり、竹内民事局長は所在等不明の区分所有者を決議の母数から除外する制度の創設や建て替え決議などの多数決要件を5分の4以上から3分の2以上に引き下げを検討していると回答されました。また、法務局が土地の所有者、所有調査を行った事業の成果は、との問いに対し実施時期や具体的な数量の報告がありました。相続土地国庫帰属制度の申請件数と地目別内訳、国庫に帰属した件数、所有者不明土地・建物管理制度の申し立件数、財産管理人が選任された件数なども回答されました。



豊田俊郎参議院議員

Profile 豊田俊郎(とよだ としろう):参議院議員(自民党)。千葉選挙区。前国土交通副大臣。土地家屋調査士。

参議院 House of Councillors Internet Deliberation
インターネット審議中継

ご覧の質疑は「参議院議員インターネット審議中継」からいつでも視聴可能です。是非ご覧ください。

全国土地家屋調査士政治連盟第24回定時大会開催

日時 令和6年3月13日(水)13:30～ 場所 都市センターホテルにて

令和6年度運動方針では「土地家屋調査士制度の充実発展、土地家屋調査士の社会的・経済的地位の向上の実現」を掲げ、優先的に調査士業務の掘り起こしと報酬額の安定を図り、これを支える調政連会員増強活動を行います。さらに①第2回狭あい道路解消シンポジウムの千葉会開催②調査士法64条・規則29条改正により境界の専門家は土地家屋調査士であることを強くアピール③低入札価格是正による社会的評価と報酬額の安定④政策要望等の実現に必要な会員の増強と組織力の強化⑤各党議員連盟と行う勉強会を通じ政治家との連携を強くする、など5つの具体的事項が示されました。これら政策要望等の実現には、連合会、全公連との強固な信頼関係のもと、50会の調政連との緊密な連携が全調政連の一番の役割です。



～第24回定時大会 懇親会～

日時 令和6年3月13日(木)18:00～ 場所 都市センターホテル「コスモホール」にて

自民党・公明党・立憲民主党・国民民主党の各党議員連盟に所属する国会議員総勢200名を定時大会懇親会にお迎えしています。今年、5類移行後初めての開催に例年を超える出席者の熱気が交わり、会場内は和やかな雰囲気になりました。日頃より慣れ親しんだ議連の先生方は、地域ブロックごとのテーブルに集結、地元選挙区調政連会員との親睦を大いに楽しめました。

各党派議連の皆様よりご挨拶をいただきました。



自民党議連の皆様



国民民主党議連の皆様



立憲民主党議連の皆様



公明党議連の皆様

皆様、ありがとうございました！

「第1回会長会議」 定時大会翌日の研修会 テーマ「AIの進化の現状と土地家屋調査士業務について」



講師 矢倉大夢氏

講演後ドイツに行かれた。今後のご活躍を期待したい。Google / Microsoft Research Ph.D. フェロー

この度、生成 AI の基礎から応用まで、幅広い知識を深めることができた。特に、登記業務に AI を活用することにより事務の簡素化、効率化を図ることが期待出来そうで大変刺激的だった。研修では、「ChatGPT」を使用し、音声入力からの絵画作成や調査士の歌の作詞・作曲、また、役員の画像を利用し、踊る役員の映像実演してもらい、一連の流れを学ぶことができ、活用のイメージを持つことができた。

さて、講師との質疑応答において、「調査士業務は AI に奪われるのか」との問いに対し、講師から「調査士業務は、依頼者や隣接地所有者とのコミュニケーションが重要であり、AI に代替されにくいのでは」との回答があったが…。

確かに、現時点での評価はそうかも知れない。しかし、AI は、私たちの予想を早まるペースで進化し続けている。気がつけば、調査士業務も AI に代替えされた、では遅い。そのためにも、調査士は、常に最新の知識を学びスキルを磨き続け、コミュニケーション能力や創造力は向上させることが重要であると感じた研修であった。

おわりに、研修を受講し、これからの調査士業務には、依頼人等との愛 (AI) を意識したコミュニケーション能力と AI を敵対することなく便利なツールとして、愛をもった付き合いが重要だと感じた。

Profile 矢倉大夢(やくら ひろむ):筑波大学院博士後期課程。国立研究開発法人産業技術総合研究所。ドイツマックス・プランク研究所。



—狭あい道路解消シンポジウム開催—

令和6年10月17日(木) 13:00～:千葉県教育会館 新館代ホール

日本土地家屋調査士会連合会では、千葉県において第2回「狭あい道路解消シンポジウム」を開催いたします。総務省の統計では、全国の住宅のうち、その3割が狭あい道路に接していることが報告されており、国民の安全な日常生活を支える根幹機能の保全について、十分な手当てが施されないままに放置されているのが現実であります。条例を制定して、狭あい道路の解消を積極的に進めている先進的な自治体がある一方、多くの自治体では、道路が広がることによる素晴らしい波及効果を理解しつつも、携わる人員の専門性がない、財源の不足などの理由により、狭あい道路整備事業を十分に行うことができていない現状があると聞き及んでいます。今般、国土交通省においても、「狭あい道路対策に関するガイドライン」を公表することにより、自治体の事業の後押しを進めています。私たち土地家屋調査士は、その有する知見を活かして、自治体と連携して「狭あい道路の解消」に努めてまいります。本シンポジウムへの参加を通して、その関心が加速していくことを目的といたします。(お問い合わせは日調連・全公連・全調政連へ。)

政治連盟にまだ入会されていない方へ — 政治連盟入会のお願い —

あなたの協力が必要です。

土地家屋調査士制度を守るのは、一人ひとりの土地家屋調査士です。

政治連盟の主な活動は、日調連が国に対し掲げる要望や「現場から寄せられる様々な声」を国政に届けるため、国会議員等と常日頃から連携するほか、土地家屋調査士制度に理解のある国会議員を支援し、政治に働きかけていく事です。こうした活動は、すべての土地家屋調査士会員のみなならず、国民の皆様の利益にもつながることから、政治信条に関係なく政治連盟の会員になっていただくことを願います。現場の実情に基づいた政策・制度が構築されますよう、本連盟の活動にご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。お一人おひとりからの会費が活動資金となります。筆界の専門家たる「現場の声」「組織としての力」を政治の場に届けるためにも、是非ともご入会よろしくお願いたします。(下記WEB申込をご利用いただけますと単位政連から連絡があります。ご入会手続きをお願いします。)

お問い合わせ

全国土地家屋調査士政治連盟

TEL : 03-6273-7507

FAX: 03-6273-7508

全国土地家屋調査士政治連盟HP



WEB申込はこちらから



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

『広がる道路 広がる安心』

狭あい道路を解消し、安全で安心な街づくりを！

